「三重県工業研究所の機能強化・施設整備にかかる基本構想」の概要

背景
（第１章 基本構想策定の経緯、第２章 工業研究所の現状と課題）

- 三重県工業研究所は、企業の抱える技術課題・ニーズに対し、技術的支援を行う公設試験研究機関。津市にある通称「本所」の他、「金属研究室」（桑名市）、「窯業研究室」（四日市市）、「窯業研究室伊賀分室」（伊賀市）と、県内に計４カ所の拠点を置く。
- 近年のＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）やＣＮ（カーボンニュートラル）といった分野横断的な新しい産業界のニーズへの対応、老朽化が著しい施設や雨漏り等による試験・測定機器への影響などへの対応が求められている。
- そのため、数十年後の将来を見え据えた、新たな工業研究所の機能強化や拠点整備の方向性等を描く「三重県工業研究所の機能強化・施設整備にかかる基本構想」を策定。

工業研究所に求められる役割
（第３章 三重県の製造業の産業構造と将来展望、第４章 県内企業・業界団体の声、第５章 他県の試験研究機関の取組、第６章 有識者意見交換会の内容）

＜三重県の製造業の産業構造と将来展望＞

①現在の産業構造と特徴

・製造業の比重が一貫して大きく、昭和40年代は化学、昭和50年代は輸送用機器、平成は電気機器、電子・デバイス・情報通信機器等へと、牽引業種が変遷。

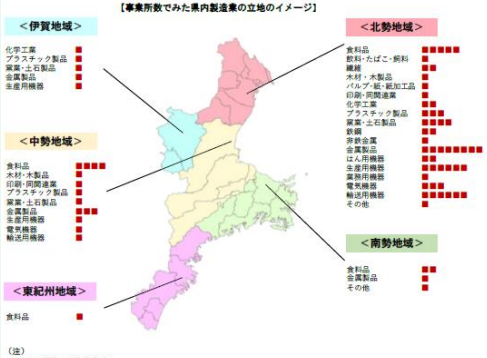
・三重県全体の産業構造としては、北勢地域では「金属製品」、「輸送用機器」、「生産用機器」、中南勢・東紀州地域では「食料品」、伊賀地域では「プラスチック製品」「化学工業」の比重が大きく、地場産業（工業系）は、鋳物、陶磁器、清酒、形紙、くみひも等が地域に分布。

②今後の発展が期待される分野

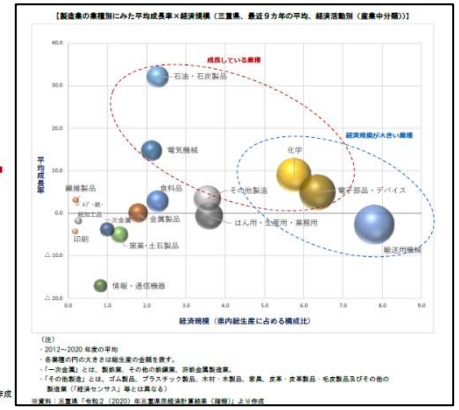
・製造業が引き続き牽引役を果たすものの、ＤＸやＣＮへの対応、人手不足に対応するＡＩ・ロボットの開発・利用などが期待。

＜県内企業等の声や他県の動向等＞

・県内の製造業等へのアンケート、人口規模や産業構造が三重県と類似している岐阜・栃木県の公設試の調査、学識経験者や産業関係団体等から構成される有識者会議などを通じて、工業研究所に求められる役割などを把握。



※資料：三重県「2020 年工業統計調査結果確報」より作成



工業研究所のあるべき姿
（第７章 工業研究所のあるべき姿）

工業研究所のコンセプト ：「地域を支えるものづくりパートナー」
地域企業への総合的な技術支援の拠点として、将来の産業構造の変化を見据えながら、幅広い技術課題やニーズにきめ細かく対応し、三重のものづくりをサポートします。

＜機能強化の方向性＞

・基幹・地場産業や成長産業への技術支援の強化、新しい技術分野にも対応できるよう、人材や設備・機器を適切に配置。
・製造業の立地状況や産業構造の変化を十分にふまえながら、数十年後の将来を見据えた支援機能の強化を図る。
・さまざまな産業分野の技術課題の解決に向けて横断的にきめ細かく支援できる組織体制とする。
・幅広い主体との連携により、効率的・効果的な技術支援サービスを提供する。

＜具体的方針＞

❶ 企業ニーズに的確に応えるとともに、基幹・地場産業や成長分野に対する支援体制を強化し、三重県の経済発展や科学技術の振興に貢献。
❷ 企業とのコミュニケーションや、研究成果の情報発信の機会を増やし、幅広い産業分野の新技術や新商品の開発を支援。
❸ ＤＸ・ＣＮといった分野横断的なテーマに対して、先導的に取り組み、時代にあわせた企業の変革をサポート。
❹ 技術者育成を積極的に支援し、企業の人材育成に貢献。
❺ 産学官連携をはじめ、多様な主体と連携することにより、地域における多面的な企業支援につなげる。

具体的な方向性
（第８章 拠点見直しの方向性）

- **北勢拠点(四日市市)**
  ・金属・窯業等をはじめ製造技術全般にかかる「ものづくりの総合拠点」として再整備
- **中南勢拠点(津市)**
  ・全県分布する食品等の分野や、県庁・産業関係団体・三重大学等との連携への対応をふまえ、本所機能を有する「連携の総合拠点」として再整備
- ものづくり全般に共通する基盤的技術や、ＤＸやＣＮ、ＡＩ等の分野横断的なテーマにかかる機能は、両拠点に配置
- **他機関との連携**は、工業研究所が担う技術面に加えて、経営面や人材育成面等を含む総合的な企業支援に取り組む観点から推進
  ・北勢拠点(四日市市)：三重県産業支援センター北勢支所等との一体的な運営
  ・中南勢拠点(津市)：産業関係団体や三重大学等との連携強化
- **津高等技術学校との一体的整備（中南勢拠点-津市）**
  ・施設・スペースの共用化等の効率化と併せて、工業研究所による技術支援と津高等技術学校による人材育成の両面から企業支援に取り組むことで、産業振興拠点としての機能・プレゼンスの向上を期待
- **金属研究室(桑名市)と窯業伊賀分室(伊賀市)**
  ・再整備を行わない金属研究室と窯業伊賀分室の今後の活用は、県全体のものづくりにかかる技術支援のあり方を具体化する中で、工業研究所に求められる役割や県有財産の有効活用等の観点をふまえて検討